ちいさなお子さんから

『へびながすぎる』
ふくながじゅんぺい／作
こぐま社

へびがあまりにもながすぎて、うさぎは気づかずに大なわ跳びをぴょ～んと始めてしまいました。すべり台やブランコ、動物たちは楽しく遊んでいます。いつ気づくかな？

ていがくねんから

『さるのせんせいとへびのかんごふさん』
穂高順也／ぶん　荒井良二／え
ビリケン出版

動物村に新しい病院ができました。へびの看護婦さんは、いろいろな薬を作ったり注射をしたり身長計に変身したり大忙し。姉妹編『へびのせんせいとさるのかんごふさん』もあります。

中学年から

『へびのクリクター』
トミー・ウンゲラー／作　中野完二／訳
文化出版局

ボドさんは、息子から誕生日にヘビをもらいました。クリクターと名づけかわいがり、先生をしている学校へも連れていきます。クリクターは子どもたちと遊ぶのが大好きです。ところが、ある夜のこと…。

高学年から

『ヘビとトカゲ』
増田戻樹／著
あかね書房

自然の中でヘビがどのように生きているか、たくさんの写真で紹介されています。種類についや体のしくみなどヘビのひみつを知ることができる１冊です。

1、おはなしかい

●毎週土曜・日曜
●午後２時～（３０分ほど）
☆第１・３・５土曜日は、虹の会

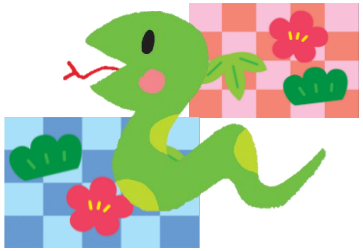
2、ぴよぴよ　おはなしかい

●毎月第２・３水曜日
●午前１１時３０分～
０～２才のお子さんとその保護者

家読リスト

よもよも

☆毎月23日は、
『朝倉市子ども読書の日』



12. 1

2024ねんど　がつごう
あさくらし　ちゅうおう　としょかん

あかちゃんから

『くるっ』
森あさ子／作
ポプラ社

ぞうさんが、くるっ！へびさんも、くるっ！いろいろなものが、くるっ！と登場。さあ、つぎはなにがくるっとなるのかな？ページをめくるのが楽しくなる絵本です。

ちいさなお子さんから

『へびにゅにゅにゅ』
海野あした／作・絵
ニコモ

せっせっせーせいくらべ。へびは、いろいろな動物と背比べに挑戦します。にゅにゅにゅと伸びてどんどん背の高くなるへび。最後はだれと比べるでしょう。言葉のリズムが楽しい絵本です。